

## 2 自然体感プログラム特別企画

10月12日（月・祝）には、愛・地球博記念公園（モリコロパーク）全体を会場として、自然体感プログラム特別企画を実施しました。

愛知万博で活躍したインタープリターなどを中心とした総勢54名の協力を得て、「もりのツアー」、「工作教室」などの多彩な自然体感プログラムを行いました。これらのプログラムには、海外インタープリターを含む延べ約7,000人が参加し、「自然の叡智」を思い出したり、自然と人間との関係を見直すための気づきを得るきっかけとなりました。

### 自然体感プログラム特別企画 会場図 （愛・地球博記念公園）



**[地球市民交流センター]**  
D 森のフォトフレーム

**[大芝生広場]**  
G おもいでの青空教室  
“美味しいお弁当”

**[林床花園]**  
I 絵ものがたりの散歩道

**[親林楽園]**  
A ネズミとドングリものがたり  
H 森あそびセレクトツアー  
J 森の図書館

**[もりの学舎]**  
C おしゃべりな森  
E むささびー  
F かえるが鳴くから、かーえろ♪  
K 生物多様性・電子絵本  
L 塗り絵コーナー

**[かめの池]**  
B 水辺の小さな美術館

## 【自然体感プログラム特別企画の概要】

インタープリターと歩くもりのツアー	
<b>A ネズミとドングリものがたり</b>	ネズミになったつもりでドングリを隠すことを通し、森の中の生命のつながりに気づく。
<b>B 水辺の小さな美術館</b>	公園内の風景を各々の感性で切り取り観察することで、多様な生き物や互いの関わりに気づく。
<b>C おしゃべりな森</b>	木や石などの自然物を擬人化することで、自然が発しているメッセージを想像し、感性を育む。
あそび工房（工作教室）	
<b>D 森のフォトフレーム</b>	森の中で見つけた自然素材で写真立てを作ることで、自然物の造形の面白さや美しさに気づく。
<b>E むささびー</b>	ムササビを模した遊具（フリスビー）の工作を通じて、地域の森の大切さについて考える。
おもいで教室	
<b>F かえるが鳴くから、かーえろ♪</b>	遊びに対する価値観の昔と今の違いに気づき、今後の生活に生かせる知恵を発見する。
<b>G おもいででの青空教室 “美味しいお弁当”</b>	お弁当の中身から、普段の暮らしと世界との関わりに気づき、今後に活かせる知恵を発見する。
セルフプログラム（参加者が自分自身で行うもの）	
<b>H 森あそびセレクトツアー（デジカメ575）</b>	森の中で撮った写真をはがきに印刷し、写真に合った一句をひねり、自然への感性を磨く。
<b>I 絵ものがたりの散歩道</b> （「ゴンちゃんモンちゃんの冒険」、「そよこ」）	森の中を散策しながら絵本を楽しみ、人と森のつながりや生き物の生態、森の循環を知る。
<b>J 森の図書館</b>	森の中で「あいち環境絵本」を楽しみながら、様々な環境問題に気づく。
<b>K 生物多様性・電子絵本</b>	私たちの暮らしを支える「生物多様性」を学ぶ。
<b>L 塗り絵コーナー</b>	沢山の色の色鉛筆を使って塗り絵を楽しみながら、自然への感性を磨く。



インタープリターと歩くもりのツアー  
（ネズミとドングリものがたり）



あそび工房（工作教室）  
（森のフォトフレーム）



おもいで教室  
（かえるが鳴くから、かーえろ♪）



おもいで教室  
（おもいででの青空教室）



セルフプログラム  
（絵ものがたりの散歩道）

# チーフ インタープリター紹介

自然体感プログラム特別企画の各プログラムの チーフ インタープリターを紹介します！

## ①担当プログラム

- A ネズミとドングリものがたり
- B 水辺の小さな美術館
- C おしゃべりな森
- D 森のフォトフレーム
- E むささびー
- F かえるが鳴くから、かーえろ♪
- G おもいで育空教室  
“美味しいお弁当”
- H デジカメ575
- I ゴンちゃんモンちゃんの冒険
- J 森の図書館
- K 生物多様性・電子絵本
- L 塗り絵コーナー

## ②所属

- ③プログラムへの思い
- ④ニックネーム



## ①総括

- ②公益社団法人  
日本環境教育  
フォーラム  
理事長

③ 自然の中で過ごす時間にはどんな意味があるのでしょうか？私達が生きていられる「大きな家である地球への感謝」、そんなことを感じられる瞬間を一緒に作っていただければと思います。

④ ちよくさん



## ① A

- ②西武造園  
株式会社
- ③森の営みと  
森のプログラム  
がこれからも毎  
年繰り返しされま  
すよう！

④ おっちゃん



## ① B

- ②NPO法人  
もりの学舎自然  
学校
- ③この時期しか  
見られない自然  
を、みなさんと  
楽しんでいきま  
しょう。

④ えびい



## ① C

- ②よりあい工房  
ぱんどり
- ③小さな子ども  
たちが、また森  
に行きたいと  
思ってくれたら  
嬉しいな。

④ りこねえ



## ① D

- ②NPO法人  
もりの学舎自然  
学校
- ③木の実や木の  
枝、木の葉など  
の森の恵みのカ  
タチ、色、手触り  
を楽しめる「森の  
フォトフレーム」  
づくりです。

④ ぐりこ



## ① E

- ②ART&LIFE  
自然学校 代表
- ③楽しいモノづ  
くりを通して森と  
そこに暮らす生  
き物たちに目を  
向ける機会に  
なれば...

④ キイチ



## ① F

- ②有限会社  
グレイシアカデ  
ミーESD事業部
- ③年代も出身  
地も違うみんな  
の「おもいで教  
室」を今のみな  
さまへ♪

④ BOW(ぼう)



## ① G

- ②NPO法人都留  
環境フォーラム
- ③”おかず”でい  
っぱいのお弁当  
って美味しいよ  
ね！どのくらい  
”おかず”のこ  
とを知ってるか  
なあー。あなた  
の暮らしとおか  
ずは意外な関係  
だったりして。

④ だいごさん



## ① H

- ②NPO法人  
もりの学舎自然  
学校
- ③森の中、ゆ  
っくり歩いてベ  
ストショット！  
あなただけの  
一言添えて

④ どん



## ① I

- ②野外保育 と  
よた森のようち  
えん森のたまご
- ③物語に入り  
込んだ気分で  
お散歩、他の森  
では体験できな  
い時間が味わ  
えるはず！

④ しま



## ① J・K・L

- ②(公財)  
キープ協会  
環境教育事業部
- ③身近な草花、  
樹々、絵本…  
自然への入口は  
いろんなところに！

④ やっさん

### 3 関連事業 自然体感プログラム「おかえり！森の自然学校」

インタープリター愛・地球ミーティングの関連事業として、全国都市緑化あいちフェア期間中の9月12日（土）から11月8日（日）の土・日・祝日を中心に、自然体感プログラム「おかえり！森の自然学校」を実施し、延べ約45,000人が参加しました。

この自然体感プログラムは、愛知万博で実施された「森の自然学校」を再現するもので、現在、もりの学舎で活躍しているインタープリターにより実施されました。



インタープリターと歩くもりのツアー  
(オリジナル家紋づくり)

#### 【「おかえり！森の自然学校」の概要】

インタープリターと歩くもりのツアー	
<b>森の万華鏡</b>	鏡を使って森を見ることで、光と自然がおりなす美しさに気づく。
<b>オリジナル家紋づくり</b>	家紋をとおして、日本人と自然との関わりについて考える。
あそび工房(工作教室)	
<b>さわってちょう</b>	つるつるした物や、ざらざらした物を使って、手帳を作ることにより、感触の違いに気づく。
<b>どんぐりころころ迷路</b>	木の実や小枝を使って迷路を作り、どんぐりを転がせることにより、自然を使った遊びを学ぶ。
おもいで教室	
<b>いただきます！給食の時間</b>	食に対する価値観の昔と今の違いに気づき、今後の生活に生かせる知恵を発見する。
セルフプログラム(参加者が自分自身で行うもの)	
<b>森の探検ゲーム</b>	探検シートを片手に森を観察することにより、自然の不思議を発見する。
<b>絵ものがたりの散歩道</b> (「もりのうた」、「そよこ」)	森の中を散策しながら絵本を楽しみ、森のつながりや生き物の生態、森の循環を知る。



あそび工房(工作教室)  
(さわってちょう)



おもいで教室  
(いただきます！給食の時間)



セルフプログラム  
(森の探検ゲーム)

#### 4 エクスカーション（離島振興モニターツアー）

10月13日（火）には、11日のトーク・セッションで発表した6名のインタプリターが、エクスカーションとして離島振興を目的としたモニターツアー（愛知県振興部主催）に参加しました。

最初に、味噌蔵（西尾市吾妻町）を訪問した6名は、味噌の香りに包まれながら、実際に味噌の仕込みに約100年間使っている杉木桶を間近に見学したり、昔ながらの製法で3年間熟成された豆味噌を試食したりして、五感で日本の伝統を楽しみました。

その後、船で佐久島（西尾市一色町）に渡り、日本の原風景の残る地域で神社や寺を散策したほか、新たな観光スポットへも足を延ばしました。日なたや海岸では、目を閉じ、鳥の声や波の音、風の感触、潮の香りを体感し、また、植生の自国との共通点・相違点に関心を向けるなど、インタプリターならではの豊かな感性で様々な島の魅力を見つけ、満喫していました。

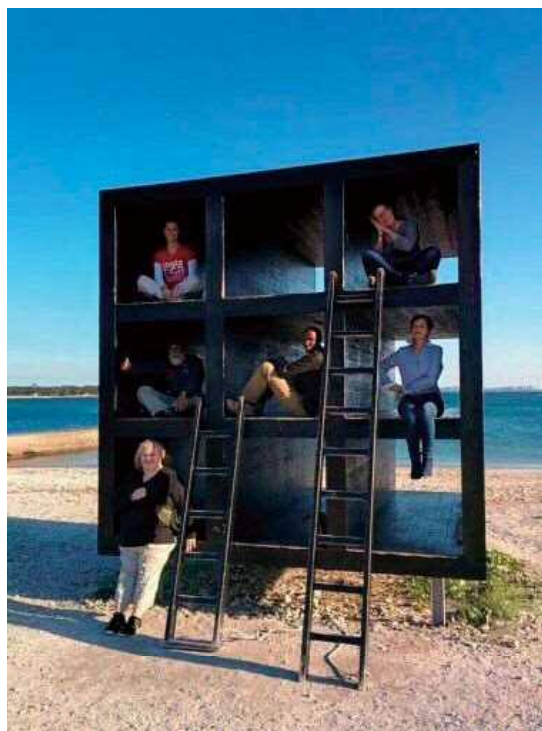
何気ない日常の中に潜む地域の宝物を見つけ出し、その素晴らしさや感動を伝えてくれる彼らの姿に、慌ただしい毎日を過ごす中で私達がついつい忘れてしまいがちな大切なことを考えさせられる一日でした。



鳥のさえずる中、日なたの濡れ縁で瞑想



味噌の香りの漂う中、説明に聞き入る



海岸でアートと潮の香り、波の音を楽しむ